

国際関係における 理念とその行方 ーアメリカの過去と現在から

11.2^土
13:00~16:30
オンライン開催
(Zoom)

どなたでも参加いただけます
参加無料

プログラム

- 13:00 開会のご挨拶
- 13:05 講義1
『「野蛮な異教徒」とアメリカ人
ー19世紀ハワイ王国におけるアメリカ
人宣教師の言説』
- 14:15 講義2
『アメリカ大統領選挙と国際秩序観
ーハリス陣営とトランプ陣営を比較
して』
- 15:30 ラウンドテーブル
それぞれのテーマについて、講師を
交えて歓談をお楽しみください。

講師

目黒 志帆美

准教授
東北大学大学院国際文化研究科
多文化共生論講座
専門：19世紀ハワイ史



講師

松本 明日香

講師
東北大学大学院国際文化研究科
国際政治経済論講座
専門：アメリカ政治・外交、
国際関係



目まぐるしく変動する国際情勢、いまだに混迷を続ける日本経済、21世紀に突入して
いよいよ抜本的な対応を迫られる環境・資源問題、多様な宗教や文化に起因する国家
間・民族間の軋轢など、私たちは、身の回りの様々な問題に直面しています。これらに
対処するためには深い洞察力が求められることは、いうまでもありません。

この講座では、市民の皆さま・地域の皆さまと問題意識を共有しながら、歴史を紐解
きつつ、現代を、そして将来を見据えていきたいと思ひます。皆さまのご参加を心より
お待ちしております。

詳細・申込は国際文化研究科webサイトから>>>

申込締切10/25

東北大学 国際文化 公開講座



国際関係における理念とその行方 —アメリカの過去と現在から

講義

1

『「野蛮な異教徒」とアメリカ人 —19世紀ハワイ王国におけるアメリカ人 宣教師の言説』

アメリカに併合される以前のハワイは、先住民の王を戴く独立王国でした。1820年以降ハワイで宣教活動を展開した福音主義のアメリカ人宣教師の影響下で進んだ文明化・キリスト教化によって、ハワイの社会は大きく変容しました。もともと土着信仰と身分制を特徴としていた伝統的ハワイ社会は、1840年以降、立憲君主制のもとハワイ国民すべての政治参加と私的財産の保有が保障される近代国家へと転身したのです。その一方で、ハワイの政治・経済的領域で段階的に権勢を拡大した宣教師とその子孫は、1893年にアメリカ海軍とともにクーデターを引き起こし、女王リリウオカラニを退位させることで、ハワイ王国はここに滅亡することになりました。したがって、アメリカへの併合に至るハワイの歴史は、宣教師勢力による支配の歴史とみなされます。

本講演では、1820年代のアメリカンボード宣教師団のハワイへの入植期に注目します。宣教師が残した記録から、当時の宣教師が母国アメリカと伝道地ハワイをいかに捉えていたのかを考えてみたいと思います。19世紀ハワイ史研究の視座から、アメリカの対外政策理念をなす源流の一端を明らかにしたいと思います。

目黒 志帆美

准教授

東北大学大学院国際文化研究科
多文化共生論講座

専門：19世紀ハワイ史



カメハメハ大王像



ハワイアン青年
ヘンリー・オポカイア



ハワイアンに説教する宣教師

講義

2

『アメリカ大統領選挙と国際秩序観 —ハリス陣営とトランプ陣営を比較して』

2024年11月5日にアメリカ大統領選挙が行われる。アメリカは国内総生産（GDP）および安全保障費と共に、いまだ世界のトップを占め、その影響は国際社会に幅広く及ぶ。候補者両陣営の国際秩序観はどのようなものなのか。アメリカ国民はどのように捉えているのか。バイデン大統領の後継者のカマラ・ハリス副大統領とドナルド・トランプ元大統領の公約と政策から、その行方を見据える。

実質的な二大政党のアメリカで、今年は民主党・共和党それぞれ大統領経験者が候補に名乗り挙げ、ほぼ確定していたが、民主党のバイデン大統領が6月27日の討論会で苦戦し、かなり遅いタイミングでの撤退を7月21日に宣言した。女性副大統領のハリスが後継となり、8月22日に米民主党党大会で大統領候補者指名を受諾した。バイデン政権は優秀なスタッフが下支え、世界保健機関（WHO）や世界貿易機関（WTO）、気候変動対策のパリ協定などの国際枠組みへの復帰や再取組み、インド太平洋経済枠組みや民主主義サミットの立ち上げなど、多国間協調にも積極的に取り組んできており、ハリスのサポートを継続する。

一方で、共和党の元大統領でもあるトランプ候補は、選挙戦と同時並行で各種司法判決に晒されていたが、7月13日のトランプ銃撃事件を受けて、生き残った英雄として支持率が跳ね上がった。ただし、「力による平和への回帰」を党要綱に据え、「アメリカ第一主義」を旗印に一期目以上の強硬な関税賦課や為替レートの調整を公約として掲げており、また複数の国際枠組みからの撤退可能性も取り沙汰されており、関係国に既に影響が出てきている。また、在任中は米朝会談やロシアのプーチン大統領との対談、中東の和平交渉を頻繁に行っていたため、泥沼化したウクライナ問題、イスラエル・パレスチナ問題への打開が方向性はさておき一部で期待されている。

松本 明日香

講師

東北大学大学院国際文化研究科
国際政治経済論講座

専門：アメリカ政治・外交、国際関係



FDR銅像と国際秩序



ウィメンズマーチと家族連れ



トランプ支持者

（ワシントンDCにて講師撮影）

申込方法

受講希望の方は、国際文化研究科webサイトよりお申込みください。

※申し込まれた方には、開催日前日までにZOOMのURLならびに講義資料のダウンロードについてご案内します。

●紙での資料送付を希望される方は、返信用封筒（角2サイズの封筒のあて名に「送付先希望住所・氏名」を記載し、320円切手を貼付）を、2024年10月21日（月）までに下記問い合わせ先宛にお送りください。またその際に、封筒の表に赤字で「公開講座資料送付希望」と記載願います。

問合せ先

東北大学大学院国際文化研究科教務係
〒980-8576 仙台市青葉区川内41